

# Happy Times

布田小地区ハッピータウン協議会



<http://happy-usako.jp>

2016年2月 第7号 年2回発行

発行: 布田小地区ハッピータウン協議会

## ハッピータウン 運営委員募集!

布田小地区ハッピータウン協議会では、一緒に活動していただける当協議会の運営委員を募集しています。年間6回の運営委員会の他、毎年4月末に実施される防災教育の日に布田小学校の避難所訓練などを実施していま

す。地域の安全を一緒に考えてみませんか?  
問合せ: 依田 042 (481) 3515  
山本 042 (485) 4992 またはお近くの下記役員・運営委員までお尋ねください。

- (2016)
- 1月 白山宮神社初詣 (1日 布田南部自治会) 消防団出初式見学 (多摩川自治会)  
和風・正月飾り 布田小体育館 (健全育成) もちつき (桜丘睦会)
  - 2月 白山宮神社節分祭 (3日 布田南部自治会)  
四地区合同耐寒マラソン (7日 健全育成)  
東京臨海広域防災公園見学会 (21日 ハッピータウン)
  - 3月 まちづくりハッピーウォーク (12日 ハッピータウン)  
布田小卒業式 (25日) 六地区親睦ソフトボール大会 (健全育成)  
スキー・スノーボード教室 (26~28日 健全育成)
  - 4月 布田小入学式 (7日) 多摩川クリーン作戦 (各自治会)  
防災教育の日布田小避難所訓練 (23日)  
定例総会 (多摩川自治会、布田西部自治会、桜丘睦会)
  - 5月 ハッピータウン総会 (31日) さくら広場プランター花植え替え (多摩川自治会)  
布田小運動会 (21日) 火の見やぐら下花植え (春) (布田南部自治会)  
日本赤十字募金 (各自治会)
  - 6月
  - 7月 布田わくわく歌声ひろば (2日 ころの健康支援センター・わくわく実行委員会)  
まちづくりハッピーウォーク (2日 ハッピータウン)  
布田小地区盆踊り (日程未定 健全育成・他) 社会福祉協議会会員募集 (各自治会)
  - 8月 盆踊り (日程未定日 多摩川自治会) 班長懇談会 (布田西部自治会)  
調布市健全育成地区親善ソフトボール大会 (日程未定 健全育成)  
ラジオ体操 (日程未定 布田小おやじネット) そうめん流し (28日 桜丘睦会)
  - 9月 白山宮神社秋の祭礼 (3-4日 布田南部自治会) 防犯の集いへの参加 (多摩川自治会)  
布多天神社秋の祭礼 (22日 布田西部自治会) かもめ親睦交流会 (未定 染地かもめ会)  
多摩川名月祭 (4日 桜丘睦会)



完成した避難所運営マニュアルを手にする布田小地区ハッピータウン協議会の運営委員の皆さん

## 布田小学校避難所マニュアルが完成

詳細は本第七号の中折り号外をご参照ください

昨年の11月末に、布田小地区の避難所運営マニュアルが当地区協議会の手によって完成した。これは、災害時に布田小学校を避難所とする際の

ルールや組織を文書化したもので、市内の他の地区協議会も同じく地域の特性に合わせてそれぞれ策定を行っている。当地区協では、山本光

則委員長をはじめとする特別策定委員会がこの半年の間に計4回の会議を経て議論を重ねてきた。山本委員長は「今後も市の総合防災課、布田小

学校の協力を得ながら改定版を作り、いざという時への備えをおこなうというようにしたい」と語っている。内容の概要は当第七号の折込の号外を参照ください。  
また、新年度四月末に実施される市の防災教育の日に、布田小学校で初めてこの運営マニュアルに基づいた訓練を予定している。

毎年年末に行われている自治会の警戒パトロールを取材してきました。  
多摩川七丁目を中心とする約百世帯を有する自治会、桜丘睦会は、年末の二週間に、平日の八時から四〜五名で警戒パトロールを実施しているそうです。自治会長の澤口孝行さんは、「このパトロールはもう三十年実施している。出会ったときお互い声をかけ合えるような住民間の和を大事に今後も実施していきたい



パトロールに出発する桜丘睦会の皆さん



ハッピータウン運営委員のパトロール

い。」と述べてくれました。続いて、染地地域を中心とする約五十世帯の染友自治会。半数が子供で占められる約16名、18名で夜八時過ぎから開始。自治会長の坂下幸(みゆき)さんは、子どもたちを入れる理由として、「子供たちには地域の愛着と関心を少しでも持つてもらいたい、また子ども達の声によって大人も注意喚起され易く(第二面に続く)

## 各自治会年末パトロール

## 純真な相互伝達

昨年の十一月末に、布田小学校三年生のあるクラスを見学させていただく機会がありました。私の子ども二人もかつて布田小に学び、学校の授業参観日に何回か参加したことがありましたが、今回はたった一人での見学でした。

理科の授業でしたが、最初の10分は授業とは関係のない担任の先生による本の物語の朗読で、その後、電球の実験を行う理科の授業が始まりました。

なるほど、各自が自主的に行う実験の前にクラスの集力を高めるための担任の先生の秘策だったのかと納得したのもつかの間、その効果がき面的ように実験についての質問やアイデアが子どもたちから矢継ぎばやに出ることになった。そしてそれに答える先生とのやりとりのリズムがハーモニーのように心地よく感動すら覚えたほどでした。

先生の事前の十分な準備と何かを学ぼうとする子どもたちの真剣な気持ち、ここでは授業という場で純真な相互コミュニケーションとして実現されていました。私たち大人は普段このような相互コミュニケーションができるでしょうか? 「準備する、真剣に聞く、反応する」。改めて自らに問う、いい経験でした。

皆さんが愛するこの地域への願いや希望がそこに住む全員の未来への光となるよう、引き続き当地区協へのご理解とご協力のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。

布田小地区ハッピータウン協議会  
会長 依田 耕児

## はっぴーなきずな

ころの健康支援センターは、今年で10年目となります。おまつりや行事などのイベントだけでなく、地域の皆様との何気ない日々の交流が支えとなっています。これからも皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。(市村研一)

あんしんあんげんと言っても、色々な目線で見ることが大切。自分は知っていたつもりでも、違った知恵で捉えて行動する人たちが、身近な地域の社会福祉施設で沢山発見。ほんわか温かな気持ちを味わいました。(藤田秀雄)

## ハッピーうさ子 キャラクター紹介

布田小学校で飼っているうさぎにもハッピー隊の一員になってもらっています! このマーク見かけたら気軽に声をかけてね!  
なまえ: ハッピーうさ子  
生年月日: 2011年7月7日  
家: 布田小



# 各自治会の年末警戒パトロール

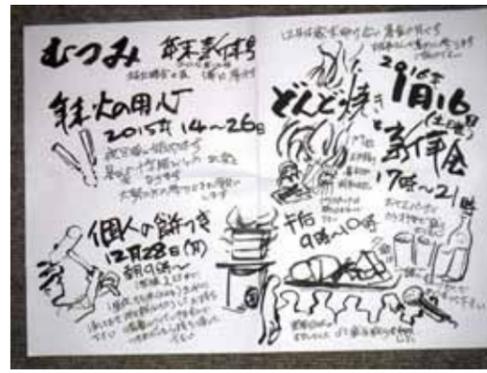
なると思う。過去には子供の数が減少して大人だけで実施した期間もあったが、今後も世代を超えたパトロールを継続していきたい。」と語ってくれました。また、当地区協には「子供たちを巻き込んだ災害対策を検討してほしい。」との要望も述べてくれました。

続いて世帯数七百余の大所帯、布田南部自治会。毎年28日、31日の四日間、午後八時半から一時間実施しているそうです。参加人数は述べ百人で1日あたりは約25人が参加。自治会長の山本光則さんが大切にしていることは、「地域には融和が大切で、初めてパトロールに参加する人

もいるので、それが契機になりお互いが顔見知りになり、歩きながら地域の歴史や変化を知ってもらったりしている。警戒のためだけではなく、お互いをよく知り合う場として今後も大切にしていきたい。」と話してくれました。

布田南部自治会は、大みそかの24時から白山神社の初詣も行っており、今年も四百人を超える参加者を予想しているそうです。その準備にも余念なく大変忙しそうでした。

最後に当地区協のパトロール。各自治会をまたぐように、布田小地区の学区域内を中域的に広く実施。地区協副会長の林田紀



桜丘睦会の年末回覧チラシ 手書きのイラストが特徴的



染友自治会の年末パトロール 子どもたちも一緒に参加



当地区協のパトロール。ピンクのおそろいのビブスを着用



布田南部自治会の年末警戒パトロールのポスター

子さんは、「パトロールしながら、昼間では気づきにくい夜間歩く際の危険箇所などにも目を配り、毎年、市に提出している地域改善要望書の内容にも反映させている。年末の一日だけだが、各自治会だけでは気づかない視点で今後も実施していきたい。」と極寒の中、熱く語ってくれました。

## 2013年、2014年に引き続き、3回目になる 地域改善要望書 2015年版 提出

布田小地区ハッピータウン協議会は、昨年12月14日(月)、調布市へ地域改善要望書の提出を行った。今年で三回目になる今回の内容は、品川通りローソンの交差点の改善要望などを合わせて六ヶ所。対応が調布市と警察に分かれることもあり、年が明けてから警察にも要望を上げていくことなど、市側と約一時間にわたり意見交換を行った。

過去2回の提出した要望書に基づき、左写真にあるような安全を確保する改善が実現し、この要望書の効果が改めて双方で確認できた。当地区協では、今後も広く住民の意見を聞きながら、街歩きハッピーウォークや夜回りパトロールなど通じて街の安心安全のための要望をまとめ、市に提出していく予定。



学校東側通りに設置された横断歩道

学校西側通りに設置されたカーブミラー



2008年に建てられた施設

暖かな冬から一変、零下に冷え込んだ1月13日の朝、調布を耕す会の多機能型施設「しごと場大好き」を訪ねた。調布を耕す会は、障碍のある人たちが、住み慣れた地域で自己実現できるよう支援する



色彩りあふれるストラップ

活支援も受けられる施設だ。現在は18歳から46歳まで40名のメンバーが利用している。訪問した時には一階の多目的室で、組みひも作り作業の真つ最中。吹き抜けのある広々としたスペースに、冬の日差しが差し込む明るい室内で、道具を使って組みひも制作に熱中するメンバーと仕上げに止め金具を付けるボランティア員の30人ほ

## しごとと場大好き 訪問

どが和気あいあいとしごとに励んでおられた。

こうして作られた組みひもや陶芸の作品は、調布市文化会館たづくりのくすのきホールで開催される「それはおしゃやれなコンサート」



日当たりのいい1階で作業中の皆さん



2階でハッピーアイスクリームを調理中



調布駅前前でよく目にするハッピーアイスクリームの移動販売ワゴン

と題する各種イベントなどで販売している。今年1月16日に歌手の南こうせつさんに出演してもらう予定で、障碍のある人もない人も気軽に参加できる文化活動の場を、身近な地域で作りたいというのがコンサートの趣旨だそう。訪問した日は本番3日前ということもあり、当日に楽屋の扉に貼る目印が手書きで準備されているなど、手作り感満載の雰囲気だった。施設長の亀田良一郎さんが施設の2階にも案内してくれた。2階に二つある調理室では、おしいと評判のアイスクリーム(ジェラート)やカレー、スチーム、プリンなどが作られており、調布を耕す会のもう一つの事業所「カフェ大好き」も提供されている。

亀田さんに今後の展開をお聞きした。「ここ『しごと場大好き』は、障碍のある方々の昼間の仕事場なんです。次のステップとしてグループホームを開設し、障害のある方々が数人のグループで世話人さんの支援を受けながら、地域の中で生活する住居を作りたいと考えています。今そのために、10年以上お借りできる空き家や借地を調布市内に探しています。」そうお話しされる亀田さんの眼はキラ

キラと輝いて、地域の障碍のある人たちが自然体で支えていきたいという夢が溢れ出てくるようだった。

思わず亀田さんにお聞きした質問「社会福祉の世界に入られたきっかけは？」に対して、「高校時代の恩師が以前勤務していた養護学校の運動会と一緒に出掛けて、そこでの恩師とOBの生徒たちの自然なやりとりを目の当たりにして、自分の障碍者理解がとてども差別的だった事に気づかされ愕然としました。」と、原体験を話してくれました。

ハッピータウン協議会が、あんなあんなの現実を目指しているこの地域には、子供も高齢者も、そして障碍のある人もない人も住んでおり、あんなあんな人も生活するのを願う気持ちは誰も等しく同じ。調布を耕す会の方々も、私たちと共に同じ思いで一歩ずつ前に進んでおられることを実感し、暖かな冬の陽を背中に浴びながら「しごと場大好き」を後にした。(藤田秀雄)

【空き家・借地を探しています】社会福祉法人「調布を耕す会」では、知的障碍の方々の女性用グループホーム開設のため、大きめの空き家・借地を探しています。希望条件は、①十年以上の長期契約が可能。②調布を耕す会所在地(布田3の20の1)から1km程度。③支援する世話人さんを入れて、7名程度が生活できる広さ。お心当たりやご質問などは以下連絡先までお願いします。社会福祉法人調布を耕す会グループホーム DAIKUKI 担当：山口寛孝 〒182-0024 調布市布田1の14の2 ☎Fax 042(480)0231 gh-daisuki@tbz-t.com.ne.jp

## 健康センターの健康

去る10月26日(日)こころの健康支援センターにて布田わくわくひろばまつりが開催された。当日は晴天に恵まれ、社会福祉協議会関係の多くの有志団体による出店で賑わった。元民生委員でこのセンターの副会長でもある橋本ノリコ実行委員長さんは、「多くの調布市民にこのイベントを知ってもらいたい、人と人とのつながりを広げていきたい。」と今後の抱負を語ってくれた。



実行委員長の橋本ノリコさん



快晴のもと大盛況の会場